

## ■ ガンマ線の分解能が悪く、正または負のスパイクや矩形のパルスがベースラインにのっている

FAQ No. : FAQ1200-004	DOC Rev. : 1.0	公開日 : 2008/10/30
対象検出器	Ge 半導体検出器全般	
キーワード	Ge 半導体検出器、分解能、スパイクノイズ、ベースライン	

### 【ご注意】

- ・この文書は、お客様の所有される環境で発生する可能性のある事象に対する一般的な対応策を記述しております。
- ・特定の環境では対応策が適当ではない場合も予想されます。
- ・対応策に関して弊社が保証あるいはサポートを付加するものではありません。

症状	
ガンマ線の分解能が悪く、正または負のスパイクや矩形のパルスがベースラインにのっている	
原因	対策
検出器表面やクライオスタット内の絶縁物質回りで放電が生じている可能性がある	<ul style="list-style-type: none"><li>・検出器に印加する高圧電圧(H.V)が、指定電圧を超えていないことを確認します。</li><li>・アンプ出力をオシロスコープで確認しながら、ベースラインが正常に戻るまで、H.V を 100V ずつ下げていきます。ベースラインが正常に回復しない場合またはベースラインが正常に戻った場合に H.V 値が指定電圧を大きく割った場合は、弊社 CS 課までお問い合わせ下さい。</li></ul>